



瓦林だより

令和7年(2025年)3月18日 第15号

西宮市立瓦林小学校

西宮市瓦林町26-19

TEL:0798 (65) 6503



瓦林小学校HP

今年度一年間、本校教育活動にご理解・ご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございました。今年度も学校運営協議会の方々、およびPTA役員の方々、本校教職員に本校の取り組みについて評価していただきました。今年度の学校関係者評価をもとに来年度も教職員で力を合わせて、子どもたちのさらなる成長のため、努力して参ります。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

(裏面に令和6年度学校関係者評価を集約した結果を掲載しています。)

令和6年度学校関係者評価考察

1.組織運営(学校)

概ねよい評価をいただいた。瓦林運動会や図工展、学校公開、授業参観など、授業や学校行事の様子をたくさんの方に見ていただくことができた。今後も、開かれた学校を目指し、学校へ来ていただく機会の設定、こまめで丁寧な情報発信を心がけたい。

2.組織運営(学校運営協議会)

よい評価ではあるものの、組織運営(学校)に比べ、若干低い結果となった。学校運営協議会は、計画通り年4回開催し、コミュニティ・スクールも3年目を向かえた。学校運営協議会のイベントにも多くの保護者に参加いただいた。外部の声を聞くことを今後の課題と捉え、イベントの事後アンケート等を通じ保護者や地域の意見を丁寧に把握し、反映していく。

3.保護者・地域との連携

今年度も、多くの方に学校ボランティアとしてご協力いただいたことに感謝を申し上げたい。1年生の下校、踏切安全、園芸、図書ボランティアについては、昨年度に引き続き、多くの方にサポートいただいた。また、多くの目が必要な水泳時に特化して、体育授業のサポートを行った。2年生の昔遊びでは、たくさんの方の地域の方にもご協力いただいた。一方で、各ボランティアともに一部の方への負担が大きくなっている現状もある。来年度より、ささえボランティアから瓦林小くコミスク・ボランティアと名称を改め、中期的・長期的に持続可能な活動の方向性をさらに検討していく。

4.学習指導

評価の3観点をバランスよく評価するために、授業の単元設定を明確にし、子どもたちが何を考えているのかを可視化することを考え、また、主体的に学習に取り組み学ぶ姿につなげた。今後も、子ども同士が意見を出し合うことのできる、互いに信頼できるクラス作りを行うとともに、学校全体で子どもたちの成長を育てていく。

5.生徒指導

昨年度に引き続き、各学期に1回「あのね週間」を設定した。問題行動等についても、生徒指導担当を中心に学年や学校としてのチーム対応が適切か、家庭・地域及び関係機関等と緊密に連携して組織的に対応を図った。今後も、子ども一人ひとりに寄り添って対応できるよう教員の資質向上に努めるとともに、保護者と積極的にコミュニケーションを図り、子どもについての理解を深めていく。

6.キャリア教育・特別支援教育

なかよし探検やなかよし折り鶴、なかよし読み聞かせ、6年生を送る会等、なかよしグループ活動は例年通り実施することができた。系統的なキャリア教育につなげていけるように全教職員で共通理解し、自己肯定感にあふれた思いやりのある人間関係作りを今後も推進していく。

7.図書館教育

読書サポートボランティアによる読み聞かせや図書ボランティアによる活動で読書活動促進の一役を担っていただいた。また、図書館教育担当者と学校司書が連携をとり、図書館教育の充実を図ってきたが、今後、さらに子どもたちの学びや成長に役立つ読書活動の推進に向け、図書の充実や広報活動を継続していくことが重要である。

8.保健教育

瓦林運動会と名称を戻し、従来に近い形で運動会を行うことができた。感染症防止対策においても、手洗い・うがいを中心に自分の健康を保持する意識は高い。今後も、子どもたちの心身の健全な発達を目指した取り組みを継続していく。

9.研究研修

日常的に、保護者や地域に開かれた学校風土を築いていくために、お互いに敬意を持って助言し合える関係性や風通しのよい雰囲気づくりを引き続き推進し、子どもたちに寄り添い、ともに歩む教職員集団づくりを目指していく。

10.施設・設備

今年度も本校舎1階から3階の数力所のトイレが洋式となり、床も乾式化された。引き続き、順次洋式になる予定である。足場を組んでの外壁の調査も行われ、今後改修工事が行われる際には情報を発信していく。

11.安全管理

いつ起こるか分からない地震や近年の異常気象への備えとして、避難訓練や学年集団下校を行っている。今年度より、1学期は毎月、2・3学期は学期に1回、担任が各地区に分かれ、児童を見守りながら下校した。引き続き、緊急時に備えた集団下校を実施し、地域との連携、情報の素早い共有など、合同での対応に取り組んでいく。

① 学校関係者評価集約（学校運営協議会・PTA）

数字は%

	評価項目	年度	4	3	2	1	平均
1	学校の教育理念や学習に関する情報等を、「学校だより」「学年だより」「学校ホームページ」等により家庭・地域へ情報発信に努めている。	R5	79	17	4	0	3.75
		R6	69	31	0	0	3.69
2	学校運営協議会や瓦林運動会等において、アンケートや聞き取りを行うなどして、外部の声を教育活動に反映させている。	R5	57	35	9	0	3.48
		R6	44	56	0	0	3.44
3	保護者・地域・学校ボランティアなどの地域の教育力と協働体制をつくっている。（総合や生活科の学習・PTA諸活動等）	R5	54	33	13	0	3.42
		R6	63	38	0	0	3.63
4	授業に、活気があり、分かる楽しさと秩序が感じられる。子どもたち自身が学び合う場をつくっている。	R5	78	17	4	0	3.74
		R6	56	44	0	0	3.56
5	互いに尊重し支え合い所属感の持てる学級づくりを目指している。子どもたちの可能性を伸ばす視点に立ち、いじめ、問題行動等へ適切かつ迅速な対応をしている。	R5	64	32	5	0	3.59
		R6	44	56	0	0	3.44
6	「なかよしグループ活動」を通じて、低学年は高学年に「あこがれ」を、高学年はリーダーとしての「誇り」を持てている。また、支え合いや励まし合いの姿など望ましい人間関係づくりにつながっている。	R5	77	23	0	0	3.77
		R6	75	25	0	0	3.75
7	図書の時間の充実や読み聞かせ等により、読書意欲の喚起をしている。	R5	57	33	10	0	3.48
		R6	56	44	0	0	3.56
8	体育科の授業や瓦林運動会などの体育的行事、食育の授業や発育測定等の保健的行事を通して、子どもたちの心と体の健全な発育を目指した取り組みをしている。	R5	48	52	0	0	3.48
		R6	44	56	0	0	3.44
9	日常的に、保護者や地域に開かれた学校風土である。子ども理解に努め、ともに歩む教師集団である。	R5	63	33	4	0	3.58
		R6	56	44	0	0	3.56
10	子どもの生活の場・学習の場としての環境整備をしている。（校舎等の施設の整備、教室や廊下の掲示物等の工夫）	R5	43	52	4	0	3.39
		R6	63	38	0	0	3.63
11	安心・安全を守る危機管理の体制（防災・心のケア）づくりを心がけている。【緊急連絡の方法（ミマモルメ）、避難訓練、スクールカウンセラー、あのね週間など】	R5	57	38	5	0	3.52
		R6	38	63	0	0	3.38

四捨五入の関係上、合計が100にならないことがあります。

② 学校関係者評価集約（教職員）

数字は%

	評価項目	年度	4	3	2	1	平均
1	学校の教育理念や学習に関する情報等を、「学校だより」「学年だより」「学校ホームページ」等により家庭・地域へ情報発信に努めている。	R5	56	44	0	0	3.56
		R6	61	39	0	0	3.61
2	学校運営協議会や瓦林運動会等において、アンケートや聞き取りを行うなどして、外部の声を教育活動に反映させている。	R5	44	56	0	0	3.44
		R6	55	42	3	0	3.52
3	保護者・地域・学校ボランティアなどの地域の教育力と協働体制をつくっている。（総合や生活科の学習・PTA諸活動等）	R5	56	41	3	0	3.53
		R6	48	39	13	0	3.35
4	授業に、活気があり、分かる楽しさと秩序が感じられる。子どもたち自身が学び合う場をつくっている。	R5	22	75	3	0	3.19
		R6	32	68	0	0	3.32
5	互いに尊重し支え合い所属感の持てる学級づくりを目指している。子どもたちの可能性を伸ばす視点に立ち、いじめ、問題行動等へ適切かつ迅速な対応をしている。	R5	29	71	0	0	3.29
		R6	35	65	0	0	3.35
6	「なかよしグループ活動」を通じて、低学年は高学年に「あこがれ」を、高学年はリーダーとしての「誇り」を持てている。また、支え合いや励まし合いの姿など望ましい人間関係づくりにつながっている。	R5	31	53	16	0	3.16
		R6	55	42	3	0	3.52
7	図書の時間の充実や読み聞かせ等により、読書意欲の喚起をしている。	R5	31	63	6	0	3.25
		R6	35	65	0	0	3.35
8	体育科の授業や瓦林運動会などの体育的行事、食育の授業や発育測定等の保健的行事を通して、子どもたちの心と体の健全な発育を目指した取り組みをしている。	R5	52	48	0	0	3.52
		R6	55	45	0	0	3.55
9	日常的に、保護者や地域に開かれた学校風土である。子ども理解に努め、ともに歩む教師集団である。	R5	45	55	0	0	3.45
		R6	52	45	3	0	3.48
10	子どもの生活の場・学習の場としての環境整備をしている。（校舎等の施設の整備、教室や廊下の掲示物等の工夫）	R5	23	66	11	0	3.11
		R6	23	77	0	0	3.23
11	安心・安全を守る危機管理の体制（防災・心のケア）づくりを心がけている。【緊急連絡の方法（ミマモルメ）、避難訓練、スクールカウンセラー、あのね週間など】	R5	40	60	0	0	3.40
		R6	30	67	3	0	3.27

四捨五入の関係上、合計が100にならないことがあります。